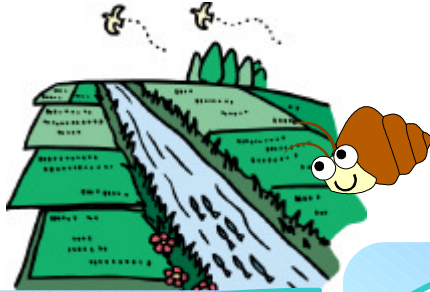


貝の調査

なぜ貝を調べるのか

今回調査した貝はホタルの餌となります。また、カワナ類は、タニシ類やモノアラガイ類よりきれいな水に住んでいる貝の指標となっています。



カワナ類

殻の高さ 3cm, 幅 1cm の細長い巻き貝。ゲンジボタルの幼虫期の餌となります。



緩やかな流れの小川などに生息します。谷津田を流れる小川で見られ、コンクリート水路でも見られます。生息には、植物性の有機物や藻類が豊富なことが重要です。

タニシ類

卵円形の巻き貝
殻の高さと幅：
オオタニシは 6.5cm, 4.5cm
マルタニシは 6cm, 4.5cm
ヒメタニシは 3.5cm, 2cm
ヘイケボタルの幼虫期の餌となります。



水田や池に生息し、泥底や植物に付着した藻類などを食べます。種類により水質汚濁に比較的強いタニシもいます。

モノアラガイ類

殻が薄い卵形の巻き貝
ヒメモノアラガイは、殻の高さ 1cm, 幅 0.8cm
ヘイケボタルの幼虫期の餌となります。



水田や池、川によどみに生息し、水際に水生植物が繁茂している場所を好みます。落ち葉や藻類などを食べます。

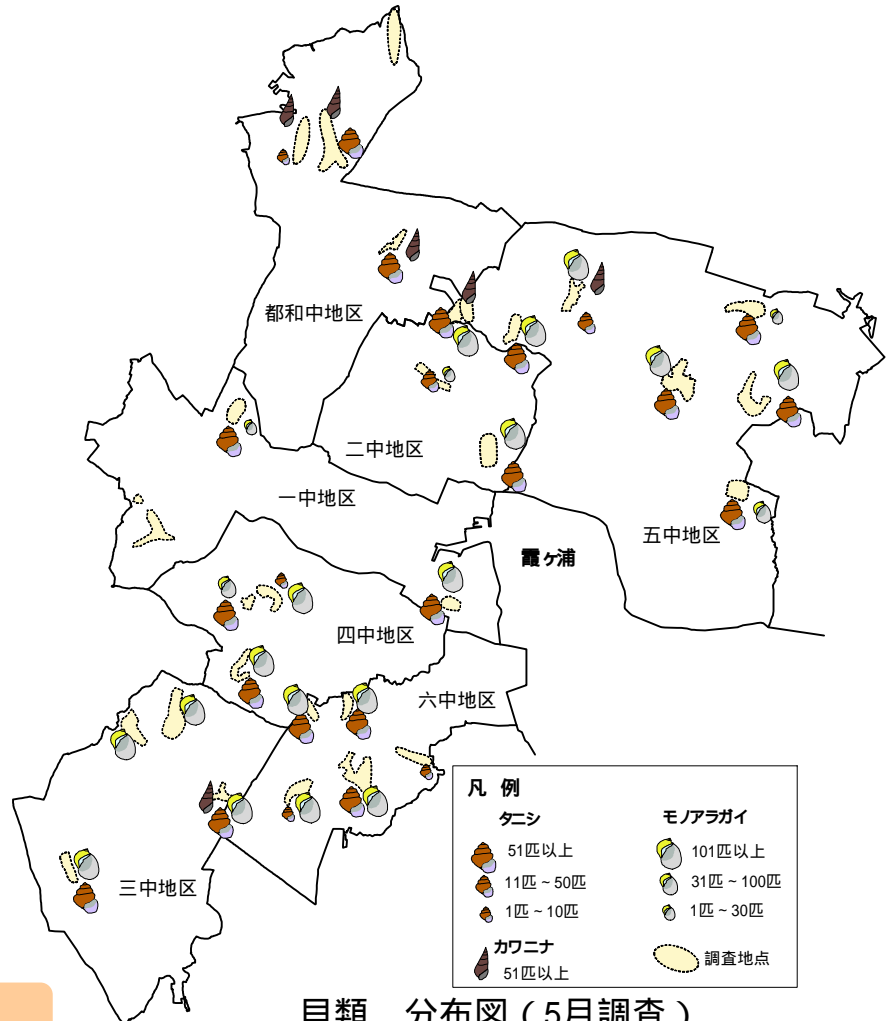
モノアラガイは水質汚濁に弱く、近年減少しています。ヒメモノアラガイは、比較的水質汚濁に強いいため、各地で見られます。

貝調査の結果

タニシ類,モノアラガイ類は,多くの水田,ハス田,水路などの流れのない場所で確認されています。

カワナ類は緩やかな流れのある場所で確認されています。確認された場所は少なく,斜面林から谷津田の水路へしみ出す水が少なくなっていると考えられます。

ホタルの幼虫は,これらの貝を食べますが,ホタルが幼虫からさなぎになり,繁殖するには,水路の状態,周辺環境などが影響します。



貝類 分布図 (5月調査)

他に水生植物調査を実施しました。